

2002年度国際学部

卒業論文

高齢者の生きがいづくり

宇都宮大学国際学部

国際文化学科

辻 裕介

要約

近年の急速な高齢化により寝たきりや痴呆等を持つ高齢者に対して医療・介護保険を始めとする多様な社会保障体制が確立されていく中で、健康で日常の生活において介護を必要としない高齢者の老後の生きがいがいづくりに関しては未だ立ち遅れている。そこで本稿では、私の故郷である江戸川区の高齢者に対する生きがいがいづくりを例に挙げて、今日の高齢者における生きがいをみていくことにした。

まず、高齢化社会がどのようなものであるのかみていく必要があるため、第1章では日本の高齢化社会の現状についてみていった。そして、高齢者とはどういう人を指すのか、日本の総人口や高齢者人口が過去から現在に至ってどのように変動してきたのか、さらに、高齢化の要因とその特徴は何なのかをみていった。第2章からはフィールドワーク（実地調査）を通して江戸川区が高齢者の生きがいがいづくりにどのように貢献しているのか調べあげた。高齢者の主な生きがい活動としては、趣味・娯楽、教育、就労が挙げられる。人と交流を深めたり、趣味を通して老後を楽しく生きる趣味・娯楽の面からはその中心的活動を担う「江戸川区くすのきクラブ」を例に挙げる。ここでは戦争や学費等の問題で勉強をすることができなかった高齢者が老後の中で学ぶことを生きがいに選んだ。教育の面からは江戸川区福祉協議会が開校する福寿大学での高齢者の教育を例に挙げる。ここでは定年退職をした高齢者がさらなる勤労意欲から働くことを生きがいにした・就労の面からは江戸川区熟年人材センターを例に挙げ、それぞれの現状や成り立ち、活動内容や今後の課題を述べ、江戸川区の地域福祉サービスの現状をみていった。第3章では第1章と第2章から学んだ高齢者社会の現状や生きがいがいづくりをもとにこれからの高齢者の生きがいがいづくりをみた。これからの高齢者人口の推測、高齢化社会に潜むさまざまな問題をみて、最終的には高齢者の生きがいがいづくりに何が必要なのかをみていった。

【要約】

【はじめに】

【第1章】高齢化社会の現状

第1節 高齢者の概念

第2節 人口の変動と高齢化推移

1 日本の人口構造の変動

2 高齢者人口の推移

第3節 人口高齢化の要因と特徴

1 高齢化の要因

2 高齢化の特徴

【第2章】江戸川区の高齢者の生きがいづくり

第1節 生きがいの概念

第2節 趣味・娯楽の面からの生きがいづくり～江戸川区くすのきクラブ～

1 老人クラブの成り立ち

2 江戸川区くすのきクラブの運営要綱と活動

(1) 運営要綱

(2) 活動内容

(3) さわやか体育祭

(4) リズム運動事業

3 今後の課題

第3節 教育の面からの生きがいづくり～江戸川区社会福祉協議会～

1 社会福祉協議会の概要

(1) 社会福祉協議会とは

(2) 社会福祉協議会の法律上の位置づけ

2 江戸川区社会福祉協議会の概要と教育事業

(1) 概要

(2) 教育事業

3 福寿大学教育の課題

第4節 就労の面から見た生きがいづくり～江戸川区熟年人材センター～

1 シルバー人材センターの組織

2 江戸川区熟年人材センターの概要

(1) 成り立ち

(2) 活動内容

3 江戸川区熟年人材センターの課題

【第3章】高齢者の生きがいづくりの展望

第1節 高齢化の将来予測

第2節 高齢化社会における生きがい問題

第3節 生きがいづくりの展望

【おわりに】

【参考文献】

【あとがき】